

宿題やテストだけじゃない

授業用のプリントを作ってみよう！

今回は、[数学受験編 2016 データベース]と「対応表検索」機能を利用して、難易度の異なる問題を検索する方法を案内します。

注意

今回の内容は、[数学受験編 2016 データベース]に加え、
[デジタル指導書 数学 II]、[チャート式データベース 数学 II+B 統合版]
がインストールされている、という前提でご案内いたします。

目標

下のようなプリントを作ります。

授業用プリント作成例 ()組()番 名前()

<p>① [310高等学校 数学 II 期末問題14] 放物線 $y=x^2-ax$ と x 軸で囲まれた部分の面積が $\frac{4}{3}$ になるような定数 a の値を求めよ。</p>	<p>④ [シニア I II A B 受 338] 直線 $y=x$ と放物線 $C: y=x^2-x$ で囲まれる領域の面積を S とする。直線 $y=ax$ (ただし $a>-1$) と C で囲まれる領域の面積が $\frac{S}{2}$ となると、a の値を求めよ。</p>
<p>② [白チャート 数学 II 例題198] p は正の定数とする。放物線 $y=px^2-x$ と x 軸で囲まれる部分の面積 S を求めよ。また、$S=\frac{3}{2}$ となるように、p の値を定めよ。</p>	<p style="text-align: center; background-color: #cccccc; padding: 10px; border: 1px solid black;">授業中に解かせたい 入試問題 (メイン)</p>
<p>③ [リンク I A II B 44] a は正の定数とする。放物線 $y=ax^2-x$ と x 軸で囲まれた図形の面積が $\frac{1}{24}$ であるとき、a の値を求めよ。</p>	<p>⑤ [2018スタンダード I II A B 受 08] 放物線 $y=x(1-x)$ と x 軸とで囲まれる部分 A の面積を求めよ。また、A の面積を放物線 $y=ax^2$ ($a>0$) が 2 等分するように a の値を定めよ。</p>

メインの問題を解くための復習問題
(教科書、参考書、受験編のデータベースから検索)

更に難易度の高い発展問題
(上の問題では物足りない生徒向け)

プリントの 活用例

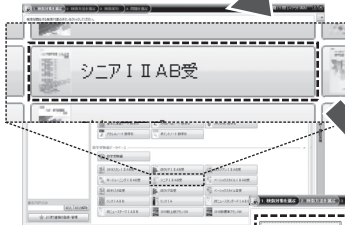
その1. 左側半分の問題を家庭学習に充て、メインの問題を授業で解かせる。
その2. メインの問題を授業で解かせつつ、解けない生徒には左側の問題を解くように促す。

手順



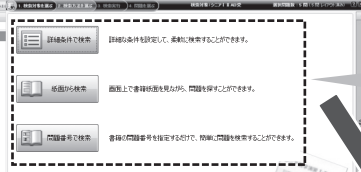
1

リボンの[ホーム]タブの[検索]ボタンをクリックします。



2

受験編データベースに収録されている書籍のうち、対応表検索機能に対応したものを選択します。(くわしくは次のページ)



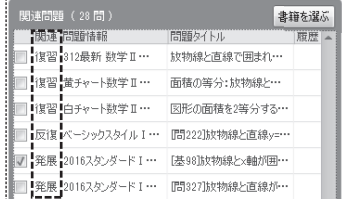
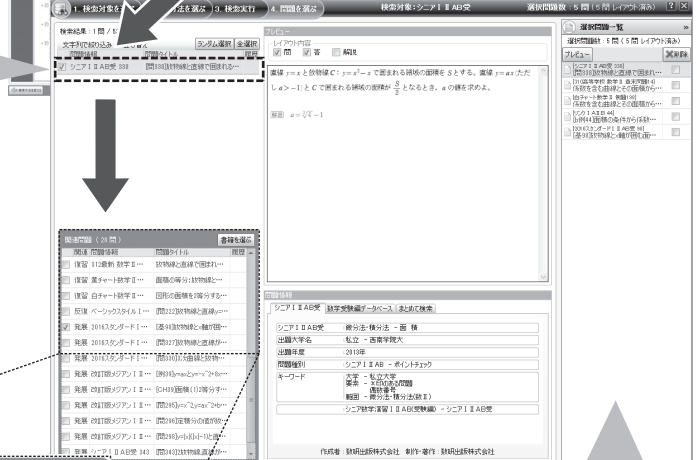
3

まずはメインの問題を検索します。



4

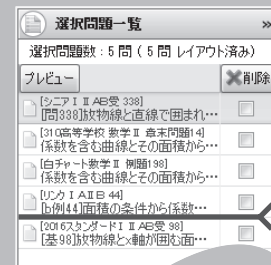
メインの問題にチェックを入れます。また、メインの問題をクリックすると、下部に関連する問題が現れます。



5

[関連]列には“復習”、“反復”、“発展”などの種類が表示されます。復習用の問題3問、発展用の問題1問にチェックを入れます。

ヒント：ここでは、ドラッグ操作で問題の順序入れ替えができます。



補足

注意点や
ヒントなど

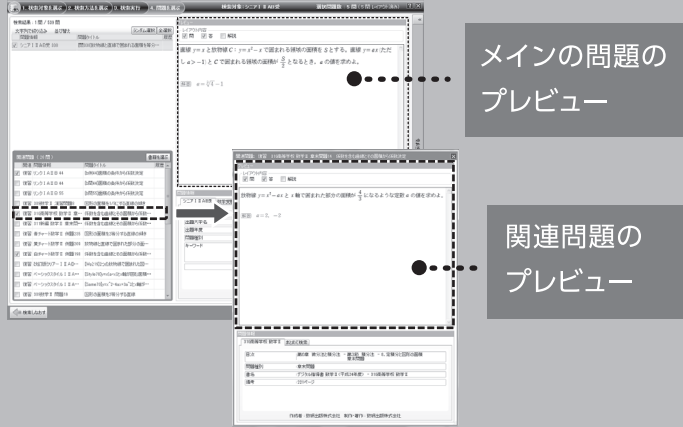
この機能が使える書籍一覧

- ・リンク I A II B (受)
- ・スタン I II A B (受)
- ・クリア I II A B (受)
- ・メジアン I II A B (受)
- ・シニア I II A B (受)
- ・ベーシックスタイル

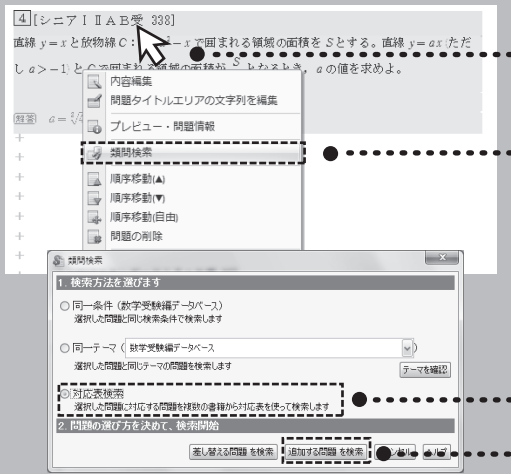
I II A B (受)

※ 受験編2015年版以降

関連問題をクリックすると、プレビューが別ウィンドウで現れるので、元の問題と並べて見ることができます。



後から関連問題を追加することもできます。



応用例:

メインの問題と同レベルの関連問題(“反復”の問題)をレイアウトしたプリントを作成すると、授業後の課題用プリントも簡単に作れます。

いかがでしたでしょうか。Studyaid D.B.受験編シリーズ(2015年版以降)では今回のような検索も可能です。ご活用いただけると幸いです。